

観察した鳥類チェックリスト

★カモ目	・タマシギ科	★ハヤブサ目	・ヒタキ科
・カモ科	□ タマシギ	・ハヤブサ科	□ ジョウビタキ
□ ハシビロガモ	・シギ科	□ チョウゲンボウ	・スズメ科
□ オカヨシガモ	□ タシギ	□ ハヤブサ	□ スズメ
□ ヨシガモ	□ イソシギ	★スズメ目	・セキレイ科
□ ヒドリガモ	・カモメ科	・モズ科	□ キセキレイ
□ カルガモ	□ ユリカモメ	□ モズ	□ ハクセキレイ
□ マガモ	□ セグロカモメ	・カラス科	□ セグロセキレイ
□ オナガガモ	□ オオセグロカモメ	□ カケス	□ タヒバリ
□ コガモ	★カツオドリ目	□ オナガ	・アトリ科
□ ホシハジロ	・ウ科	□ ハシボソガラス	□ アトリ
□ キンクロハジロ	□ カワウ	□ ハシブトガラス	□ シメ
□ ミコアイサ	★ペリカン目	・シジュウカラ科	□ コイカル
★キジ目	・サギ科	□ ヤマガラ	□ ウソ
・キジ科	□ ヨシゴイ	□ シジュウカラ	□ カワラヒワ
□ キジ	□ ゴイサギ	・ヒバリ科	・ホオジロ科
★ハト目	□ アマサギ	□ ヒバリ	□ ホオジロ
・ハト科	□ アオサギ	・ヒヨドリ科	□ カシラダカ
□ キジバト	□ ダイサギ	□ ヒヨドリ	□ アオジ
★ツル目	□ チュウサギ	・ツバメ科	□ オオジュリン
・クイナ科	□ コサギ	□ ツバメ	□
□ クイナ	★タカ目	・ウグイス科	□
□ パン	・ミサゴ科	□ ウグイス	□
□ オオバン	□ ミサゴ	・エナガ科	□
□ ヒクイナ	・タカ科	□ エナガ	□
★カツブリ目	□ ツミ	・ヨシキリ科	□
・カツブリ科	□ ハイタカ	□ オオヨシキリ	□
□ カツブリ	□ オオタカ	・セッカ科	□
□ カンムリカツブリ	□ チュウヒ	□ セッカ	(外来種や家禽)
□ ミミカツブリ	□ トビ	・メジロ科	□ コブハクチョウ
□ ハジロカツブリ	□ ノスリ	□ メジロ	□ バリケン
★チドリ目	★ブッポウソウ目	・ムクドリ科	□ ガチョウ
・セイタカシギ科	・カワセミ科	□ ムクドリ	□ アヒル
□ セイタカシギ	□ カワセミ	・ツグミ科	□ ドバト
・チドリ科	★キツツキ目	□ シロハラ	
□ タゲリ	・キツツキ科	□ アカハラ	
□ ムナグロ	□ コゲラ	□ ツグミ	
□ コチドリ			

このパンフレット持参で
てがたん参加の方は
当日、博物館入館無料です。

【10月のテーマ】
タケってどんな植物?
案内人: 村松 和行 (鳥の博物館学芸員)



床の間や茶室に利用される竹材 (写真: 京都市洛西竹林公園)

竹は昔から私たちの生活に利用されてきた植物のひとつです。タケノコは食用にされ、成長したものは建築材、生活用品、漁具や農具など様々な分野で利用されてきました。しかし、近年では竹の需要の減少によって、管理されない竹林が拡大して農地や住宅地の妨げになったり、本来の植生に影響を及ぼしたりすることが度々話題になります。

今回のてがたんでは、竹の生態的特徴を観察しながら、竹と人との関わりについて調べてみましょう。

2025年10月11日 (土)

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地ではマナーを守って観察しましょう。

日本の三大タケを比べてみよう

日本で見られる竹のおよそ9割は以下の3種で占められています。それぞれの特徴を調べよう！



モウソウチク(孟宗竹)



マダケ(真竹)



ハチク(淡竹)

- ・節の輪が1本
- ・他の2種よりも太い
- ・タケノコは最も多く食用に利用される

- ・節の輪が2本
- ・下の輪の方が膨らんでいる
- ・節間が長いので、様々な竹工芸品に利用される

- ・節の輪が2本
- ・上下の輪がともに角張っていて、幹が全体的に白い
- ・茶せんを作る材料に使われる

なぜタケは成長が早いの？

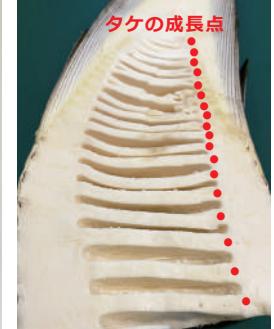
樹木は形成層にある細胞が分裂することで幹や根が太くなります。タケの稈（イネ科の場合は幹や茎のことを稈と呼びます）は中空で形成層がないので太くなることはなく、地面から出てきたタケノコの太さのまま伸びます。また、樹木の成長点は根や茎の先端にありますが、タケはすべての節に成長点があるので、短期間で稈が伸びて一気に成長します。



マテバシイの幹の断面



マダケの稈の断面



モウソウチクのタケノコ

タケはどうやって増えるの？

タケはイネ科タケ亜科に属する常緑性の多年生植物で種子をつけていますが、発芽率が非常に低く、主に地下茎によって広がります。



地下茎にある芽子が伸びて、地上に出るとタケノコになります。

